

業務	項目	項番	要件
セキュリティ	警備員の配置	1	警備員が常時（365日、24時間）配置されていること。
	入退出管理	2	IDカード認証と生体認証等の二要素以上により、入退出管理が行われること。
		3	業者のサーバ室への入退出については、氏名管理が行われていること。
		4	入退出マニュアルが明示されていること。
		5	入退出管理記録のデータについては、提出が可能なこと。
		6	非常時の物理的な鍵の管理が十分になされていること。
		7	不法侵入者を感知した場合、警備会社等へ通報されること。
		8	監視カメラにより24時間監視を行うこと。
		9	監視カメラによる監視による入退出経路のカバーは100パーセントであること。
		10	機器持出し等の対策が講じられていること。
	データ保護	11	国際標準化機構「ISO27017」の認証を受けていること。
		12	クラウドサービス情報開示認定機関「ASPIC」の認定を受けていること。
施設運用	運営者	13	データセンターは契約企業もしくは100%資本の関連会社が運営していること。
	総合監視	14	施設の電源、設備、機器全体の動作状況が常時監視可能な設備を有していること。
	設備点検	15	施設点検は無停電での実施ができること。
建築	立地	16	国内に設置されていること。
		17	緊急時には保守担当SEが早急に現地対応できること。
		18	自治体の洪水ハザードマップで浸水地域に該当しない場所にあること。
		19	津波被害の影響を受けない立地であること。海岸線からの距離や、国・自治体の津波被害想定の上、安全な場所であること。
		20	活断層から一定距離離れていること。
	耐震基準	21	昭和56年の新築基準以降の耐震基準に準拠し、震度7以上に耐えうる設計であること。
	水害対策	22	サーバ室及び回線機器等のスペースについては、水害対策を講じていること。
設備	サーバ室	23	本システムの関連機器を設置するにあたり、十分な面積を有していること。
	サーバ室ラック	24	機器及びラック等を設置した上で、空調効率を保持できる室内高を確保していること。
		25	室内の防塵対策が講じられていること。
		26	ラック自体に免振装置等の対策があること。
		27	ラックについては施錠でき、許可されたもの以外は開閉できない仕組みを講じること。
	作業スペース	28	システムの保守・運用・管理を行うことが可能なスペースを有すること。
		29	作業に必要な照明及び非常灯を有すること。
		30	構内経路は事故や災害を考慮し、十分なスペースが確保されていること。
	データ保管室	31	データメディア類を適切に保管できる設備を有すること。
	電源設備	32	商用及び自家発電用の最低2系統の電源を有していること。
		33	停電時には自動的に自家発電へと切り替わることで無停止のまま運用継続できること。
		34	自家発電装置用の燃料は72時間以上を備蓄し、無停止運用を継続できること。
		35	災害時対応として自家発電装置用の燃料は複数の元売業者と優先供給特約を締結していること。
	空調設備	36	サーバ運用に適した空調設備を有すること。
	防火・防水設備	37	災害感知設備を有すること。
		38	窒素ガス消化設備を有すること。
	避雷設備	39	避雷設備を有すること。
	静電気対策	40	静電気対策が講じられていること。
その他	現地視察	41	本設備要件全般において、現地視察して確認が可能なこと。